茅ヶ崎市立円蔵小学校
校　長　山井　美奈子

学校だより　1月号

茅ヶ崎市円蔵 1-13-1　TEL0467-52-7433

令和６年１月９日

２０２４年を良い年に！！

～一人一人が笑顔で安心して過ごすために～

新しい年を迎えました。子どもたちは「なりたい自分」を思い浮かべ、今年はどのような年にしたいか、目標をもって２０２４年の学校生活をスタートします。そして私たちは子どもたちの健やかな成長を願い、教職員一同、力を合わせてまいります。今年もどうぞよろしくお願いします。

冬休み明けの後期後半は今年度のまとめの時期となります。大切にしてほしいことの３点を改めて意識していきたいと思います。

あいさつ　いっぱいはなしを聴く　すきなことをみつける

まず「あいさつ」です。朝、おはようとひとことあいさつを交わすだけでも、ほっと心があたたかくなります。笑顔になります。引き続き、あいさつの輪を広げていきましょう。

次に「いっぱいはなしを聴く」です。話を聴く時は、耳と目と心で聴きます。話している人が何を伝えようとしているのか、どんなことを考えているのか、耳だけでなく目と心を使うとよくわかります。そして、それは相手を大切にする聴き方になります。相手を大切にできる人は相手からも大切にされます。互いを大切にする経験は自他ともに認め合える子を育むことにつながっていくと考えます。

そして３つめが「すきなことをみつける」です。すきなことは日々の生活を楽しく豊かにします。そして、多くの経験や挑戦を通してすきなことをみつけ、それを糧に 10 年先 20 年先の自分の人生を自分らしく生きていける、切り開いていける人になってほしいと願います。

感じる心と想像する力

学校生活の中で子どもたちの様子を見守っていると、遊びやふざけ合いが度を過ぎて危険な行動になることがあります。これ以上続けると、けがをしたり相手が嫌な気持ちになったりするということに気づけないこともあります。兄弟姉妹の喧嘩も同じような状況で起こることが少なくありません。自分も子どもの頃に親に叱られたことを思い出します。また、当時は年齢が様々な近所の子たちと大勢で遊ぶ機会が多く、トラブルがあれば年上の子を中心に子どもたちなりに考えて解決していました。そのような経験を通して私たちは人との関わり方を知らず知らずのうちに学んでいたと思います。

自分の心も相手の心も目には見えません。言葉で伝え合うことで互いを知り理解することができます。そして、より良い関係を築いていくために、学校生活の中で多様な価値観や違いを認め合い、尊重し合う経験を積み重ね、感じる心と想像する力を培っていってほしいと考えています。